

観光



寄り添う館は、日本のこころ。
とくと満喫、湯煙旅情。

ぎんざんおんせん 銀山温泉

銀山川の両側に、木造三層・四層の旅館が軒を連ねる温泉街は、一幅の絵のよう。大正ロマンの風情あふれる街並みをそぞろ歩く浴衣姿は、銀山温泉の主人公です。ガス灯が灯る夕暮れは一段と郷愁を誘います。「出羽の名湯」でくつろぎ、地元の旬が並ぶ膳に地酒を飲み交わすのは、至福のひとつ。尾花沢の豊かな人情も旅のごちそうです。



足湯 和楽足湯

源泉をそのまま使用した足湯で、どなたでも気軽にご利用できます。湯の香りを感じつつ風光明媚な温泉街を一望しながら、ゆっくりと過ぎていく時間をお楽しみください。



共同浴場 しろがね湯

建築家の隈研吾氏デザインのモダンな建物が印象的な銀山温泉の共同浴場です。細かな湯の花が浮かぶナトリウム塩化物・硫酸塩温泉で、体の芯から温まります。



感じる 大正ロマン

大正ロマン漂う銀山温泉。貸衣装で温泉街に浴け込む姿は、まるでタイムスリップしたかのよう。心に残る体験が待っています。

公衆浴場ご案内

旅館名	営業時間	料金
共同浴場 しろがね湯	9時～17時	大人 / 500円 小人 / 200円

銀山温泉のオススメ

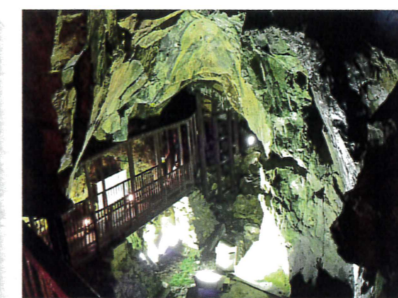
豊かな自然の中にひっそりと佇む銀山温泉。春夏秋冬・昼夜でも違った雰囲気を楽しむ。都会の喧騒をはなれ、ゆっくりとした時間や景色をお友達やご家族、そして大切な人と、お楽しみいただければと思います。皆さまのお越しを心より、お待ちしております。

GINZAN Hotspring

銀山温泉散策コース

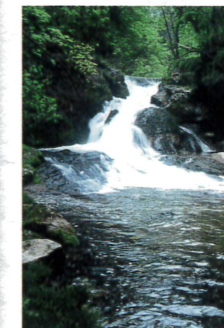
※冬期間は不可

夏の銀山温泉散策コース、特に全てを回る「満喫コース」は、人の一生を巡る道としてパワースポットになっています。また、山の神社は子宝に恵まると評判の神社です。



ぎんこうどう 銀坑洞

400年前ににぎわった銀山の面影が残る国指定史跡。歩道橋や照明設備が整っています。見学は無料です。(冬期間は閉鎖)



洗心峡



おもかげ園

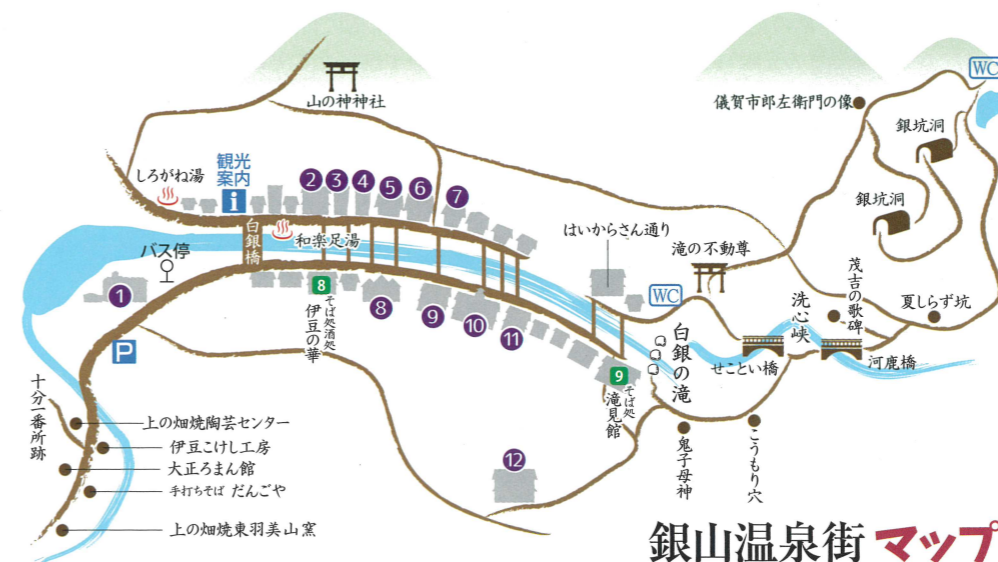


白銀の滝



夏しらず坑

坑口からは、夏でもひんやりとした風が吹き出ます。暑さを忘れさせてくれる夏の定番スポットです。



銀山温泉街マップ

銀山温泉に関するお問合せは…銀山温泉観光案内所 ☎ 0237(28)3933

市外局番：0237

旅館名	室数	電話番号
①銀山荘	40	28-2322
②古山園	10	28-2039
③クラノバ	6	28-2039
④旅館 松本	10	28-2021
⑤昭和館	13	28-2151
⑥古勢起屋別館	14	28-2322
⑦御宿 やなだ屋	4	28-2030
⑧藤屋	8	28-2141
⑨旅館 永澤平八	8	28-2137
⑩能登屋旅館	15	28-2327
⑪旅籠 いたうや	4	28-2025
⑫瀧見館	14	28-2164



昔の話

延沢銀山は、1456年に加賀国金沢の「儀賀市郎左衛門」が発見したとされています。史実は、1600年頃から野辺沢氏によって経営されていました。1634年には江戸幕府の御公儀山として直轄され、最盛期には約1万5千人を超える関係者が生活していたと推定されています。銀山温泉は、その開発の際に出湯し、当時から山師たちが利用していたとされる400年以上の歴史がある温泉です。温泉街は鉱山衰退後、山師から温泉宿の経営や温泉商人となった者が生業とし、多くの湯治客でにぎわい

見せたとされています。また、銀山川の清流をはさんで両岸に位置する現在の温泉の街並みは、大正中・後期から昭和初期にかけて形成され、木造三層・四層の風情ある旅館や街並は、今でも大正文化の面影を残しています。歩道に並ぶガス灯がノスタルジックな雰囲気を出し、夕方、そのガス灯に火が灯る風景は人気の一つです。尾花沢市が1986年に制定した「銀山温泉家並保存条例」によって、建物と景観を維持し、観光振興に生かしています。1983年には、NHK連続テレビ小説「おしん」の舞台になったことで全国的に有名になり、現在では、海外からの観光客も増加しています。